

## 事業実績報告書

様式 2  
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-09	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう！～
記載日	2020/8/16	団体名・企業名	NPO法人藤前干潟を守る会

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

実際に干潟に入って生きもの触れ合うことにより、今までただの泥のとしか見えなかった干潟に、驚くほど多種多様な生きものが生息していることを知ってもらう。そして、上流からの栄養が小さな命を育み、まわりまわって大きくなった魚などを私たち人間が食べるという「命のつながり」についても伝え、干潟はもちろんのこと、上流を含めた流域全体の環境を守る重要性に気づいてもらう。

さらに、藤前干潟が国際的にも重要な湿地であることも伝え、渡り鳥たちの命をささえていることを伝える。



#### ※写真1の説明

7月23日(木祝) 滯筋に仕掛けられたウナギ土管には、立派なウロハゼが！

#### ※写真2の説明

8月2日(日) 藤前活動センターにて多くの生きものの分類にトライ！

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場となる藤前活動センターは3月2日から臨時休館。政府の緊急事態宣言もあり、講座を開催できるのかという不安をずっと抱えていました。

6月から活動を再開したものの、全くの手探り状態でした。参加人数を減らし、席を離し、各家族にスタッフを固定して、他の家族とあまり接近しないように工夫を凝らしました。意識の高い方もあれば、三密回避を促してもまったく気にしていないような方もいて、今までの観察会とは異なった神経を遣いました。

そんな状況でも干潟の魅力を伝えることができ、楽しそうに帰って行かれる姿を見てホッとしています。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

・説明もあり、ていねいに教えてくださり、子どもも大人も楽しめました。子どもが環境問題について少しでも考えるきっかけになったと思います。

- ・ The experience was an eye-opener! I learned a lot and really enjoyed the event!
- ・ はじめて干潟に入って楽しかったです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- ・ 実習というかたちで体験ができ、理解が深まったと思います。